

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2023年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科	環境園芸学科			
科目名称	教育課程論						授業形態	講義		
科目コード	750065	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験担当教員	○	Active・L	○	
担当教員名	川越 寛							ICT活用	○	
授業概要	<p>教育課程とは、学校教育を通して児童生徒の成長を促すための教育計画であり、その編成に際しては、児童生徒の実態を丁寧に把握するとともに、学校を取り巻く様々な要因や教育課程編成の要件等をふまえることが求められている。例えば「高い学力が全ての生徒に育っているか」「生徒の問題行動は減っているか」などといった教育成果の質はこの教育課程に大きく関係している。</p> <p>個々の教師の教科の授業や学級での指導には必ず学校全体、学年全体、学科全体の教育課程が関わっている。したがって、教育課程編成とは創造的な営みであり、教師の仕事の「おもしろさ」や「魅力」が詰まったものでもあり、教師の力量が問われるものでもある。</p> <p>本授業は、学校をめぐる近年の政策動向や理論的・実践的な研究動向などを取り上げるとともに、専門用語をわかりやすく解説することや具体例などを用いて取り組みの方向性をイメージしやすくすることで実践的な教育の在り方について学ぶものとする。公立学校、教育行政において教育課程の編成・実施・評価を担当、永年高等学校で実務経験を有する教員が授業を担当する。</p>									
関連する科目	教育概論、教育の方法と技術、各科目の教科教育法									
授業の方法と進め方	基本プレゼンテーションを用いて講義を行う。その中にグループディスカッション、質疑応答、模擬授業の時間を設け、学生が自ら考えたり、他者と協議したりすることで思考力・判断力・表現力を深化させると共に、主体的・対話的で深い学びの醸成を図る。									
第1回	魅力ある高校と教育課程 ～学校目標と教育課程～									
第2回	学校教師にとっての教育課程 ～デザイナーとしての教師、カリキュラムの一部としての教師～									
第3回	学習指導要領と教育課程（1） ～学習指導要領の変遷～									
第4回	学習指導要領と教育課程（2） ～現学習指導要領の目指すもの～									
第5回	学習指導要領と教育課程（3） ～現学習指導要領の理念を実現する授業～									
第6回	農業教育に関する教育課程 ～「農業教育」のこれまでとこれから～									
第7回	カリキュラムマネジメントと教育課程 ～高等学校におけるカリキュラムマネジメントとは～									
第8回	教育評価の意義 ～授業と評価の関係性～									
第9回	教科教育の教育課程と教育評価 ～新しい時代の学び～									
第10回	道徳教育の教育課程と教育評価 ～道徳教育の更なる推進・充実～									
第11回	総合的な探究の時間・特別活動の教育課程と教育評価 ～探究・特別活動の更なる推進・充実～									
第12回	特別支援教育と教育課程編成 ～特別支援教育の更なる推進・充実～									
第13回	通信制高校・私立高校の教育課程 ～通信制高校と全日制高校の比較、私立高校と公立高校の比較～									
第14回	情報教育と教育課程 ～教科・科目とICT活用の関係性～									
第15回	教育課程編成演習 ～仮想高校の教育課程を編成する～									

授業の達成目標	1.学校教育目標達成と教育課程編成の関係性を理解する 2.高等学校教育の基本と教育課程の役割について理解する 3.教育課程の編成について理解する 4.教育課程の実施と学習評価の関係について理解する
学位授与方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力-(1)/2.汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外学習【予習】	学習指導要領の関係箇所を熟読し、次回の講義内容を把握する(約30分)
授業時間外学【復習】	授業終了後に示す課題についてレポートを作成する(約1時間)
課題に対するフィードバック	提出されたレポートを評価後、返却及び次の授業で解説する 定期テストは試験後に解説する
評価方法・基準	1.レポート(30点) 2.定期テスト(70点)
テキスト	必要に応じて資料を配付する
参考書	1.高等学校学習指導要領(平成30年告示) 文部科学省発行 2.高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 農業編 文部科学省発行
備考	